

(別記様式3)

指定管理者による公の施設の管理運営状況(令和7年度分)

施設名	群馬県精神障害者援護寮はばたき	所管課	健康福祉部福祉局障害政策課
指定管理者名	社会福祉法人 アルカディア	指定期間	5 年
利用料金制	☐ 導入 ☒ 一部導入 ☐ なし		R5.4.1 ~ R10.3.31

※利用料金制とは施設の利用に係る料金を指定管理者の収入として収受させる制度。「一部導入」は利用料金制を導入しているが指定管理料を支出している施設

1 施設の概要

施設所在地	群馬県伊勢崎市国定町2丁目2400-1
指定管理業務内容	・自立訓練(生活訓練)及び宿泊型自立訓練を実施する事業所の管理運営に関する業務 ・援護寮の利用料の収受に関する業務 ・援護寮の施設及び附属施設等の維持に関する業務 等

2 職員の状況(令和7年4月現在)※主に指定管理業務に従事する職員数

通常(フルタイム)の職員:	8 人		
短時間雇用の職員:	12 人	合計:	20 人

3 収支の状況(令和7年度決算額)

(円)

収 入		支 出	
指定管理料	23,279,000	人件費	63,827,019
自立訓練費	49,583,897	委託料	2,162,168
利用料収入	776,300	光熱水費	3,484,407
利用者負担金	111,505	租税公課費	2,000
その他(補助金・実習謝礼金等)	777,266	その他(消耗品、修繕費等)	5,157,008
収入合計	74,527,968	支出合計	74,632,602

※指定管理者の指定管理業務等及び自主事業に係る収支を記入(指定管理者団体全体の収支ではない。)

4 利用の状況

	令和7年度(実績)	(参考)令和6年度(実績)	(参考)令和5年度(実績)
①年間利用者数(人)	宿泊延4,069人 通所延104人	宿泊延4,227人 通所延74人	宿泊延3,987人 通所延0人
②使用料収入(円) (県納付額)	0	0	0
③利用料収入(円) (指定管理者収受額)	776,300	886,950	798,900

5 施設における実施事業の状況

事業・イベント名	開催日	参加者数	内容	参加者の感想等
花見	4月4日	利用者:8名 スタッフ:4名	華蔵寺公園でお花見を行った	桜がきれい・人が多かった 晴れてよかった
外出レク	6月18日	利用者:10名 スタッフ:5名 ボランティア:3名	こんにやくパーク工場見学	こんにやく料理を堪能しました いろいろな風景が見られて楽しかった。ちょっと疲れた
暑気払い	7月31日	利用者:13名 学生:3名 スタッフ:11名 ボランティア:3名	そうめん・てんぷらを職員・利用者で作る	そうめんやてんぷらが美味しかった。 手伝ったので余計においしく感じられた
外出レク	8月13日	利用者:9名 スタッフ:6名	ロピア 普段行かないスーパーに行き 買物を楽しむ	お店の中をいろいろ見られて楽し みになった。また行きたい

外出レク	8月15日	利用者:8名 スタッフ:4名 ボランティア:1名	けやきウォーク スマーク(映画鑑賞)	映画が見れて楽しかった。いろいろな食べ物屋があつて詳しくなりたいと思った
花火会	8月20日	利用者:9名 スタッフ:2名	はばたき内で手持ち花火を楽しむ	久しぶりに花火をした。楽しかった。きれいだった
共同自炊	9月17日	利用者:12名 スタッフ:8名 ボランティア:2名	カレーを職員・利用者で作り食べる	お腹いっぱい食べました。手伝いをして楽しかった
外出レク	11月7日	利用者:8名 スタッフ:7名	川場田園プラザ	紅葉や食事が楽しめた。野菜やお土産が見られて参考になったりした
クリスマス会	12月25日	利用者:14名 スタッフ:8名 ボランティア:2名	ケーキやチキンを食べ、ビンゴを行った	ビンゴ大会ではたくさんの笑顔が見られてよかった。調理準備など手伝い和気あいあいと行えた
年越しそばの会	12月29日	利用者:11名 スタッフ:12名 ボランティア:2名	年越し蕎麦と一緒に食べ一年を振り返り慰労する会	蕎麦とそうめんと薬味がおいしく感じられた。こんなに食べたのは久しぶりです
初詣	1月5日	利用者:11名 スタッフ:3名	赤城神社へ参拝する	おみくじを引いたり、宗教上の関係で参拝しない人もいたが楽しめた
もちつき	1月15日	利用者:13名 スタッフ:10名 ボランティア:2名	お餅をつき季節感を楽しむ	磯部あげと雑煮が食べられた。リフレッシュでき良い経験ができた
共同自炊	3月4日	利用者:13名 スタッフ:10名 実習生:1名	カレーを職員・利用者で作り食べる	じゃがいもがホクホクしておいしかった。手伝いができて良かった。楽しかった

6 利用者満足度調査等の結果及び対応状況

(実施期間) 令和7年10月7日～10月27日 (実施方法・回収率等) 実施方法:無記名 実施対象者:援護寮はばたき利用者(全員) 回収率:100% (項目別回答集計) ①スタッフの対応 : 非常に満足(3) ほぼ満足(7) 普通(3) やや不満(1) 不満(0) ②プログラムの内容: 非常に満足(1) ほぼ満足(4) 普通(9) やや不満(0) 不満(0) ③相談体制・対応 : 非常に満足(1) ほぼ満足(5) 普通(7) やや不満(1) 不満(0) (利用者からの意見等) スタッフの対応や相談体制については、トラブルもなく普通に接してくれている。逆に長く時間を割いてくれず親切ではないとの意見があった。プログラムでは、少し退屈になってきた。木工作业では意見は分れ集中できる。上手にできると楽しい。有効に時間が使えるとの意見がある反面、集中するのが苦手な方もいた。 (調査結果分析) 今回のアンケートの回答欄には自由に回答できるように「選んだ理由」とした。その結果具体的にいろいろと意見を伺う事ができた。プログラムでは外出やレクなどがやはり人気。生活面でのプログラムは苦手という傾向になる。 (調査結果への対応状況) プログラム内容に退屈さを感じている利用者もいるため、やりたいプログラムも質問している。就職や対人面でのプログラムを希望している為、検討していく。また自立に向けたプログラムや日常生活上に必要な洗濯や清潔保持、自炊等もプログラムに入れ見直していく必要がある。また、相談体制については利用者個々により対応は違ってくるが、相談力を向上させていくためにも研修や職員間の情報共有も徹底していく必要がある。 (その他苦情・要望等及びその対応状況) アンケート調査だけでなく、日頃から利用者が相談しやすい体制を整え、小さな要望も適切に対処していけば、苦情や不満につながらない。そのためにも情報の共有や職員一人一人に任せず全体で対応していくことが重要となる。意見箱を活用、月に1回の利用者会で情報を共有しその都度対応をしている。

注) 項目は例示であり、調査等の状況に応じて、任意様式で同様の内容を記載して構わない。

7 管理運営状況の評価（A: 優良、B: 良好、C: 要努力、D: 要改善）

評価項目	総合評価	評価の考え方	評価できる事項及び改善すべき課題
総合評価	A	概ね事業計画、仕様書などおりの成果、実績があり、また利用者の確保に向けて、イベント等の活用、見学・体験者の積極的な受入、病院訪問などによる施設の周知に取り組んでいる。	<評価できる事項> 利用者の確保に向けて、イベントへの参加等様々な機会を活用するよう努力している。 <改善すべき課題> 日中活動プログラムについて利用者からの要望等を踏まえた工夫や、積極的な障害者雇用が求められる。

（個別項目ごとの評価）

評価項目	評価
平等利用の確保	A
サービスの提供内容	B
管理費用の執行状況	A
管理運営体制	A
法令遵守等	B
労働条件評価の実施	有

評価項目	評価
利用者対応	A
地域貢献	A
環境問題への取組	B
防災対策及び緊急時の対応	A
個人情報保護及び情報公開	A

（参考）指定管理者の自己評価及び評価委員会の年度評価結果

	総合評価	評価の考え方
指定管理者の自己評価	A	利用率向上のために柔軟な受け入れ態勢を整え、入所につなげてきた。また自立支援協議会への参加を行い関係機関との関係強化やイベントへの積極的な参加を行う事で広報活動につながっている。職員の質の向上のために研修を行った。また、利用者からの要望や意見を聞き、その都度説明や対応を行った
評価委員会の年度評価	A	概ね事業計画、仕様書などおりの成果、実績があり、かつ施設の設置目的及び指定管理業務の目標達成に向けて非常に努力をしている。

注）「個別項目ごとの評価」の評価項目は、施設及び利用の形態に応じて、選定時の審査項目、仕様書・事業計画等と整合性を持った項目を設定する。